

アスベスト問題で「支援機構」と第3回目の交渉

日時 2005年10月4日(火)
場所 鉄道建設・運輸整備支援機構9階会議室
参加者 国労側
久保業務部長
本間中央執行委員

機構側

轟総括課長補佐 管理部職員課
村田課長補佐 同上

機構：10月1日付け朝日、毎日、読売の三大新聞に、「元国鉄職員の皆様へ」と題したアスベストについての「広告」(別紙)を出した。さらに、周知について検討しているところである。

国労：「広告」については前向きと評価している。しかし、記事が小さすぎて目につかないのではないか。個人情報保護の関係もあるが、国鉄OB会の名簿とか、社会保険庁から名簿を入手するとかの努力が必要ではないのか。こちらから持ち込んだ名簿をもとに郵送することも検討すべきである。政府が周知の方針をとっているのだからきわめて当然のことである。

機構：そのことを含めて検討はしている。「広告」の大きさについては、規格があり今回は「横12、5cm、縦6、5cm」にしたものである。「広告」を出した1日から、多数の「健康不安・手続き上」などの問い合わせがあった。国鉄時代の特殊健康診断受診名簿などの入手を検討している。個人情報保護との関連で政府関係とも相談してきた。

国労：退職者から臨時健康診断の申し出があった場合の機構としての対応はどうか。

機構：現在検討中の内容は以下の通りであるが、全員というわけにはいかない。各人からアスベスト作業従事の「申請書」を出してもらい、その後、機構から「承認書」を送付するようなことを検討している。また、労災病院もしくは最寄りの病院で受診(領収書保管、後で精算)など、前向きにそれらを検討している段階である。

国労：前回交渉以降の業務災害申請者数はどうなっているのか。

機構：前回8件で報告したが、8月22日以降東日本支社管内で8件、西日本支社管内で6件の新たな申請者があった。詳細は下記の通りである。なお、業務災害認定者数は西日本支社管内で2名あり、計8名となった。

認定者(8月23日以降、22日以前は7月28日付速報参照)

職 場	認 定 日
-----	-------

広島工場（S L 職場）
中国地方自動車局（整備）

9月28日
9月28日

申請受理状況（8月23日以降、22日以前は8月24日付速報参照）

東日本支社管内

申請受理日	職 場	病 状	
8月23日	大船工場	中皮腫	2004年死亡
8月29日	池田機関区	アスベスト肺	
9月5日	青函連絡船	中皮腫	2004年死亡
9月5日	浜松工場 機関車職場	アスベスト肺	
9月20日	長野工場	中皮腫	2002年死亡
9月21日	長野工場	肺ガン	
9月21日	新津工場	アスベスト肺	2000年死亡
9月22日	大船工場		

西日本支社管内

申請受理日	職 場	病 状	
9月1日	後藤工場	中皮腫	2001年死亡
9月20日	後藤工場 S L 職場	アスベスト 胸膜炎	
9月26日	後藤工場	アスベスト肺	
7月25日	鷹取工場	中皮腫	

アスベスト被災者申請状況

認定現況	東日本支社管内 人 数	西日本支社管内 人 数	計
既認定者	4	4	8
申請済み	12	6	18
合 計	16	10	26

以上